

2026年2月期 通期決算説明資料

株式会社アルバイトタイムス

2026年4月20日



連結業績の概要

2025年3月1日～2026年2月28日

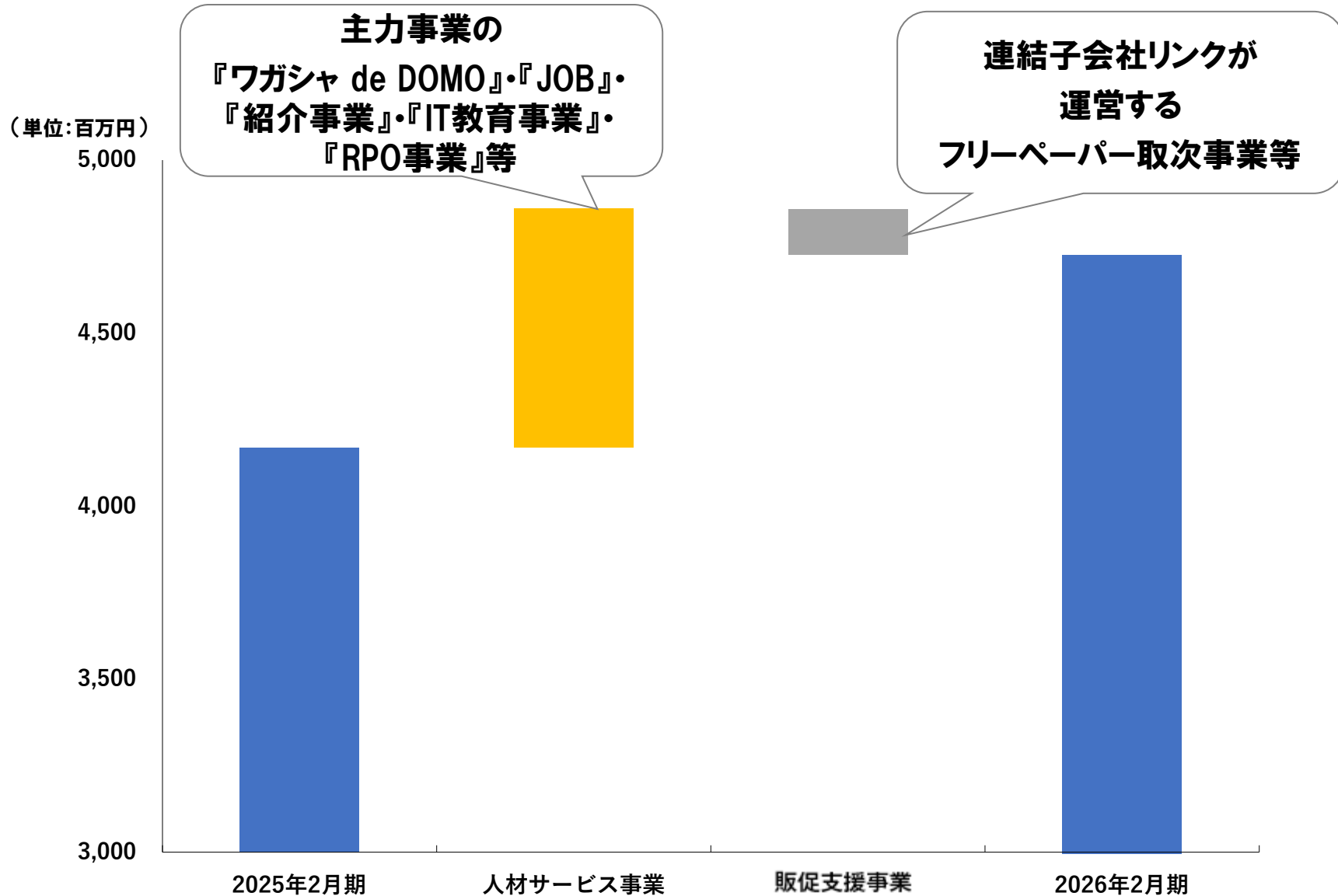


通期の業績(PL)

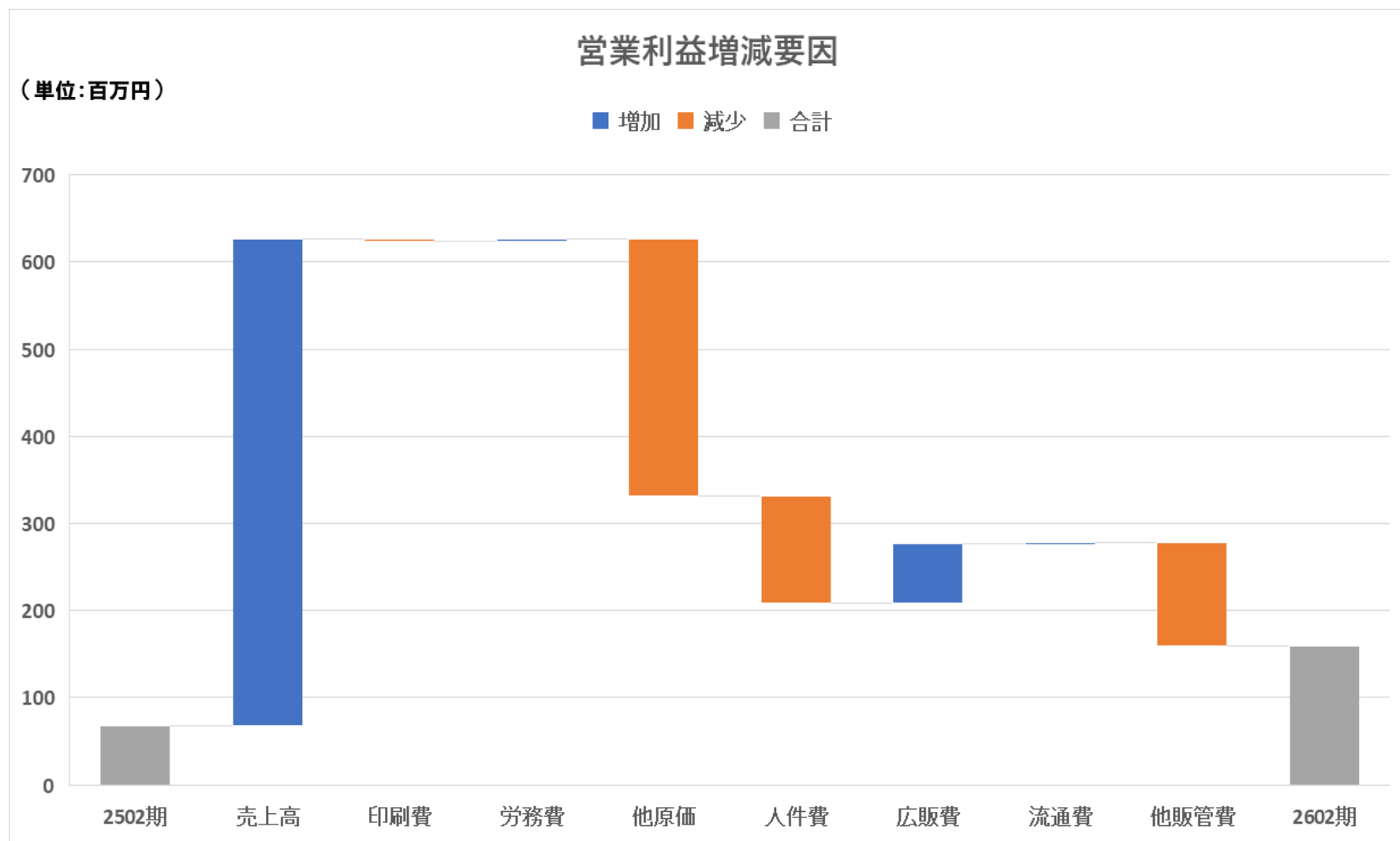
金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2026年2月期		2025年2月		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		4,719	100.0	4,160	100.0	558	13.4
売上原価		1,557	33.0	1,262	30.3	294	23.3
	印刷費	205	4.4	202	4.9	3	1.6
	労務費	123	2.6	127	3.1	△4	△3.6
	その他売上原価	1,227	26.0	931	22.4	295	31.7
売上総利益		3,162	67.0	2,898	69.7	263	9.1
販管費		3,001	63.6	2,829	68.0	172	6.1
	人件費	1,750	37.1	1,625	39.1	124	7.7
	広告・販促費	539	11.4	608	14.6	△69	△11.5
	流通費	28	0.6	29	0.7	△1	△4.2
	その他販管費	684	14.5	565	13.6	118	21.0
営業利益		160	3.4	68	1.6	91	133.6
経常利益		169	3.6	88	2.1	81	92.1
税金等調整前 当期純利益または当期純損失		169	3.6	△451	△10.8	620	—
親会社株主に帰属する 当期純利益または当期純損失		189	4.0	△467	△11.2	657	—
EPS		¥10.33		¥△25.58			



セグメント別売上高(内部取引消去前)



営業利益の増減要因



当期末の業績(BS)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2026年2月末		2025年2月末		前期末比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
	流動資産	2,285	63.2	2,509	75.6	△224	△8.9
	固定資産	1,328	36.8	808	24.4	520	64.3
	資産合計	3,613	100.0	3,317	100.0	295	8.9
	流動負債	708	19.6	523	15.8	185	35.4
	固定負債	49	1.4	25	0.8	24	98.3
	負債合計	758	21.0	548	16.5	209	38.3
	資本金	455	12.6	455	13.7	—	—
	資本剰余金	538	14.9	545	16.4	△6	△1.3
	利益剰余金	3,012	85.8	3,361	101.3	△259	△7.7
	自己株式	△1,241	△34.4	△1,598	△48.2	356	△22.3
	株主資本	2,854	79.0	2,764	83.3	90	3.3
	その他包括利益累計額	0	0.0	5	0.2	△4	△83.2
	純資産	2,855	79.0	2,769	83.5	85	3.1
	負債・純資産合計	3,613	100.0	3,317	100.0	295	8.9
	BPS	¥156.13		¥151.43			

当期累計の業績(CF)

金額・増減額:百万円	2026年2月期	2025年2月期	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動CF	399	97	301
投資活動CF	△560	△146	△414
財務活動CF	△106	△98	△7
換算差額	1	2	△1
増減額	△266	△144	△121
期首残高	1,979	2,123	△144
期末残高	1,712	1,979	△266

➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 営業活動の結果得られた資金は、399百万円(前連結会計年度は97百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が169百万円、のれん償却額が58百万円、賞与引当金の増加額が17百万円、株式給付引当金の増加額が24百万円、未払消費税の増加額が66百万円等となったためです。

➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 投資活動の結果使用した資金は、560百万円(同146百万円の支出)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出が87百万円、その他、子会社株式取得による支出が469百万円等になったためです。

➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

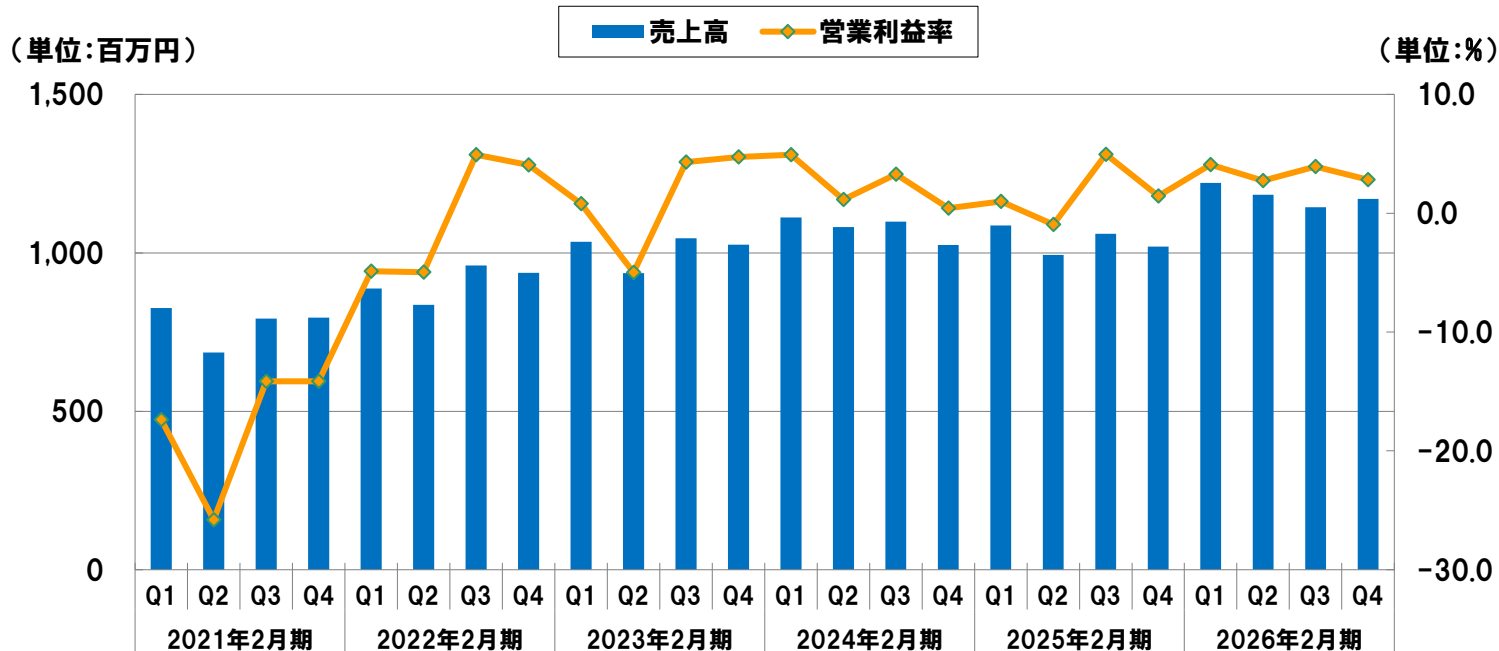
- ◆ 財務活動の結果使用した資金は、106百万円(同98百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額が98百万円等となったためです。

当期の総括

2025年3月1日～2026年2月28日



経営環境と業績推移



➤ 取り巻く環境と経営のあゆみ

- ◆ リーマン・ショック後、国内景気回復の中で基盤事業のサービス強化および収益の安定化を推進し、安定的な利益を計上。2021年2月期にはコロナ感染症拡大の影響により営業損失を計上。コロナ感染症に伴う行動制限解除に伴い、経済活動が正常化へと進み、徐々に売上が回復し、コスト圧縮効果と合わせ営業黒字を継続して計上することとなりました。
- ◆ 当社の今後の対策といたしましては、市場成長性と収益性の高い分野へ事業を集中するとともに、将来的な成長性が見込まれる新しいソリューションサービスの創出、そして成長性下支えする経営基盤の構築が必要であると考えております。具体的には、継続した『ワガシャ de DOMO』等のHRテックの拡販に加えフリーランス・副業人材を中心としたプロのリクルーターを活用したRPO事業の首都圏以外への地域展開や付加価値の高いサービスの拡充を進めて参ります。



事業環境

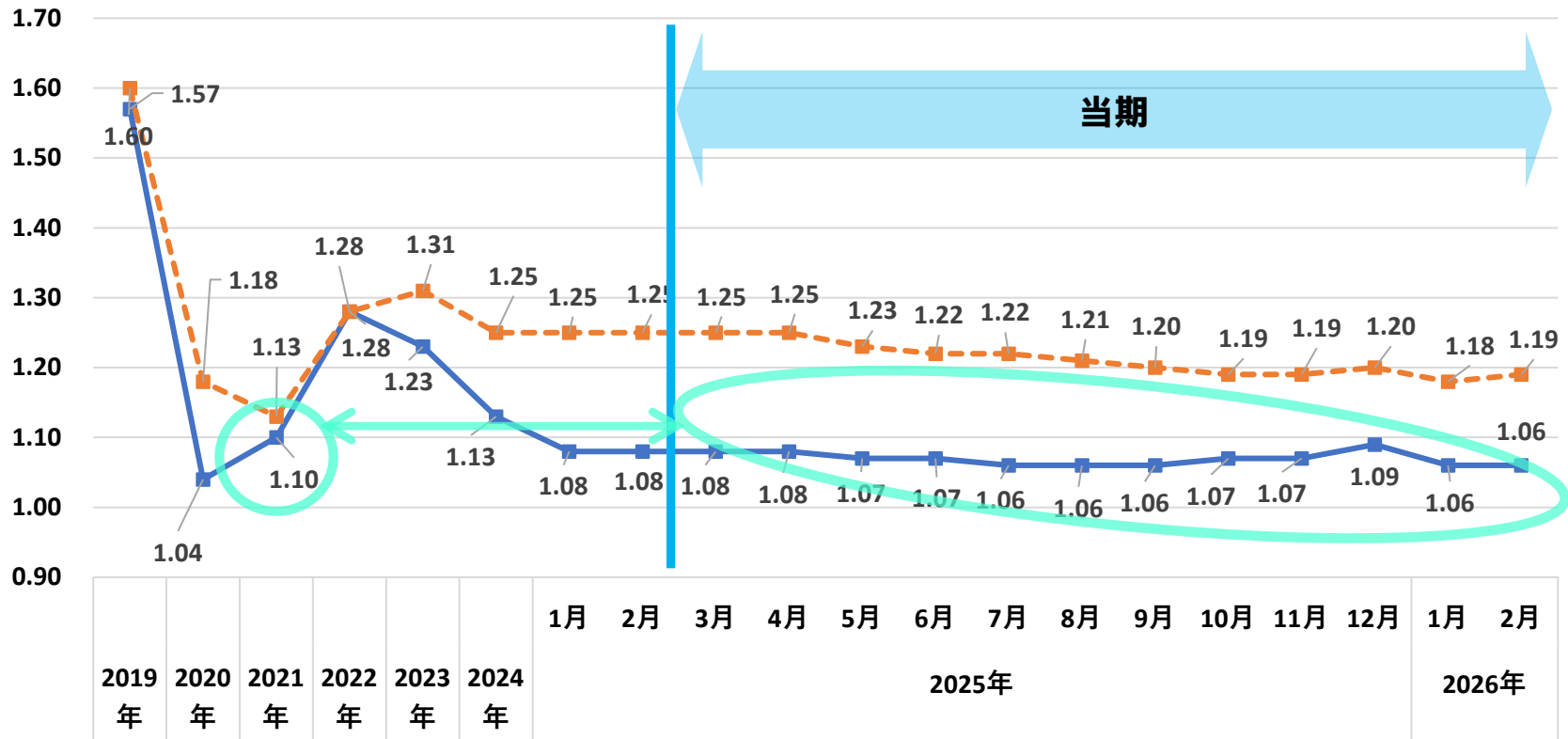
収益基盤である静岡県の有効求人倍率は依然として弱含みであり、
 コロナ禍中の2021年度を下回るとともに全国平均を下回っている

有効求人倍率推移

(単位:倍)

■ 静岡県 - - 全国

出所：静岡労働局 雇用労働統計より当社作成



重点施策

成長に向けた投資の実施

➤ 成長に向けた投資(販売拡大、商品力の強化、生産性向上、事業規模拡大)を実施

【コスト投資】

人件費費

投資
増加額

124
百万円

販売拡大や商品力向上の
ための投資

【新規事業投資】

人材教育関連費用

投資額

141
百万円

人材教育事業の1つである、
IT未経験の新卒者向けの
IT教育事業

【固定資産投資】

固定資産投資費用

投資額

57
百万円

内訳
工具器具備品関連 0百万円
Web関連投資 57百万円

Web関連投資は主に
「ワガシャ de DOMO」の
機能開発など

当連結会計期間における成長に向けた投資は322百万円(前年同期176百万円)

※成長に向けたコスト投資において人件費は前年同期比における増加額を投資としております。



重点施策

HRテック「ワガシャ de DOMO」のオプションサービスの拡充および 拡販施策の継続 ならびに RPO事業の展開等

自社専用の採用サイトを簡単に
作成できる採用管理システム(ATS)

ワガシャ de DOMO!

などHRテック事業

【実施内容】

- ◆協業パートナーとの業務提携等による
販路拡大施策の継続
- ◆利便性の追求によるオプションサービスの拡充

売上高
2,485百万円

前連結会計期間比

+15.0%

(当連結会計期間：内部消去取引前)

HRテック 連結売上高構成比

52.7%

※「ワガシャ de DOMO」
と附属する代販商品等の売
上を合算した売上構成比

フリーランスや副業人材を中心とした
プロのリクルーターを活用

RPO事業

【実施内容】

- ◆株式会社WHOMを中心に
首都圏地域を中心とした新規顧客開拓

売上高
344百万円

前中間連結会計期間比

-%

※サービス展開は当期からのため
(当連結会計期間：内部消去取引前)

連結売上高構成比

+7.3%

※今期より、RPO事業とし
て計上している連結商品別
の売上構成比



連結業績予想

2026年3月1日～2027年2月28日



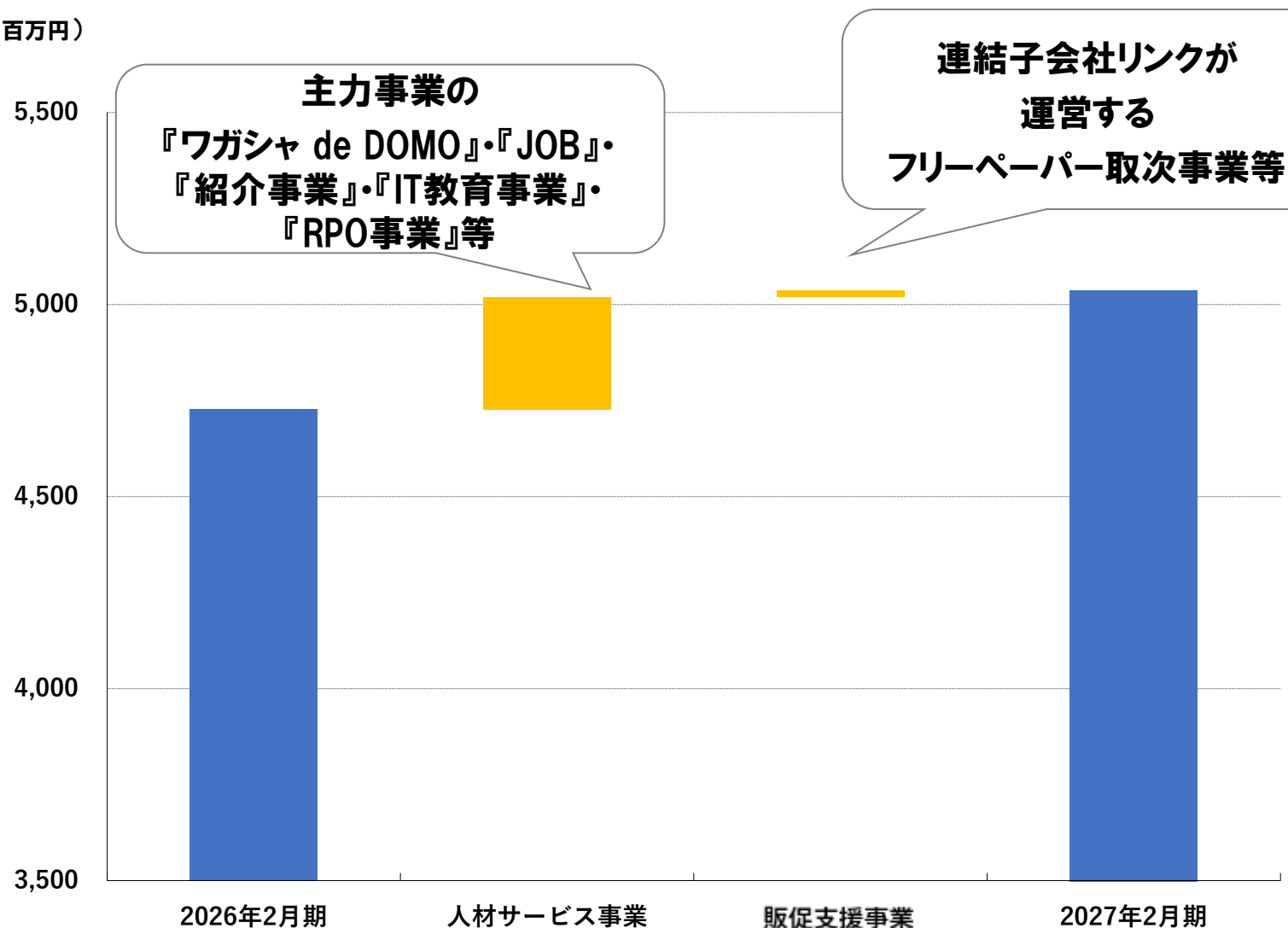
業績予想

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	2027年2月期		2026年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	5,024	100.0	4,719	100.0	305	6.5
売上原価	1,635	32.5	1,557	33.0	78	5.0
印刷費	198	3.9	205	4.4	△7	△3.7
労務費	123	2.5	123	2.6	0	0.4
その他売上原価	1,313	26.1	1,227	26.0	85	7.0
売上総利益	3,389	67.5	3,162	67.0	226	7.2
販管費	3,109	61.9	3,001	63.6	107	3.6
人件費	1,805	35.9	1,750	37.1	55	3.2
広告・販促費	606	12.1	539	11.4	67	12.6
流通費	23	0.5	28	0.6	△5	△18.0
その他販管費	672	13.4	684	14.5	△11	△1.6
営業利益	280	5.6	160	3.4	119	74.9
経常利益	277	5.5	169	3.6	108	64.1
税金等調整前 当期純利益または当期純損失	277	5.5	169	3.6	108	64.1
親会社株主に帰属する 当期純利益または当期純損失	139	2.8	189	4.0	△49	△26.2
EPS	¥7.63		¥10.33			



セグメント別売上高(内部取引消去前)

(単位:百万円)



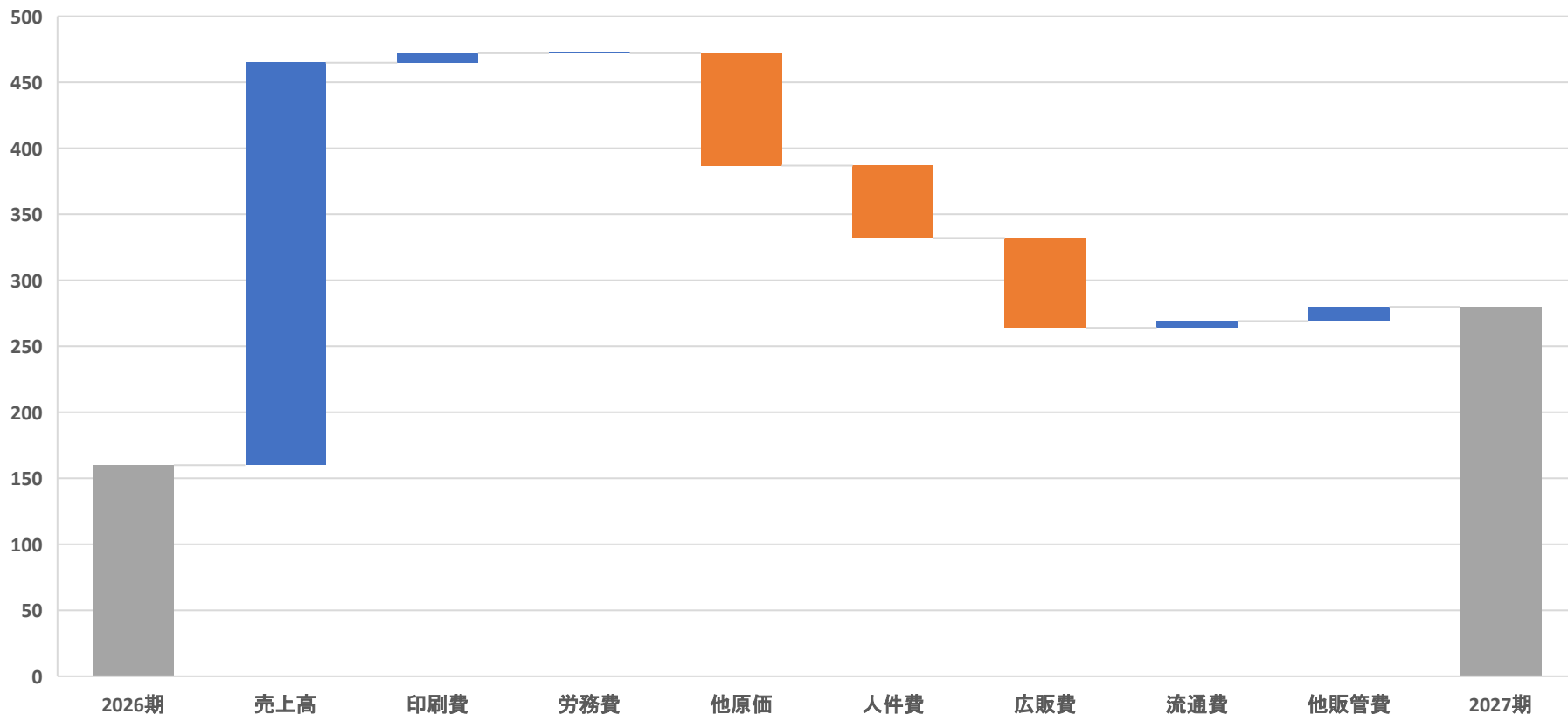
売上から営業利益までの内訳

更なる売上増に向けて要員、広告販促費投入も黒字継続

営業利益増減要因

(単位:百万円)

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



成長に向けた投資の継続

➤ 成長に向けた投資(販売拡大、商品力の強化、生産性向上、事業規模拡大)を実施

【コスト投資】

人件費
広告販促費

投資
増加額

122

百万円

販売拡大や商品力向上の
ための投資

【新規事業投資】

人材教育関連費用

投資額

177

百万円

人材教育事業の1つである、
IT未経験の新卒者向けの
IT教育事業

【固定資産投資】

固定資産投資費用

投資額

12

百万円

Web関連投資において、
主に「ワガシャ de DOMO」
の機能開発など

次期における成長に向けた投資は311百万円(前年同期341百万円)

※成長に向けたコスト投資において人件費・広告販促費は前年同期比における増加額を投資としております。



重点施策

HRテック「ワガシャ de DOMO」のオプションサービスの拡充および 拡販施策の継続 ならびに RPO事業の展開等の拡充

- 「ワガシャ de DOMO」は、利便性の追求によるオプションサービス拡充ならびに、協業パートナーとの業務提携による販路拡大施策を継続
- RPO事業は、首都圏以外への地域展開ならびに付加価値の高いサービスの拡充

自社専用の採用サイトを簡単に
作成できる採用管理システム(ATS)

ワガシャ de DOMO!

などHRテック事業

売上高
2,632百万円

HRテック 連結売上高構成比

52.4%

前連結会計期間比

+5.9%

(内部消去取引前)

※「ワガシャ de DOMO」
と附属する代販商品等の売
上を合算した売上構成比

フリーランスや副業人材を中心とした
プロのリクルーターを活用

RPO事業

売上高
432百万円

連結売上高構成比

+8.6%

前連結会計期間比

+25.8%

(内部消去取引前)

※RPO事業として計上
している連結商品別の
売上構成比

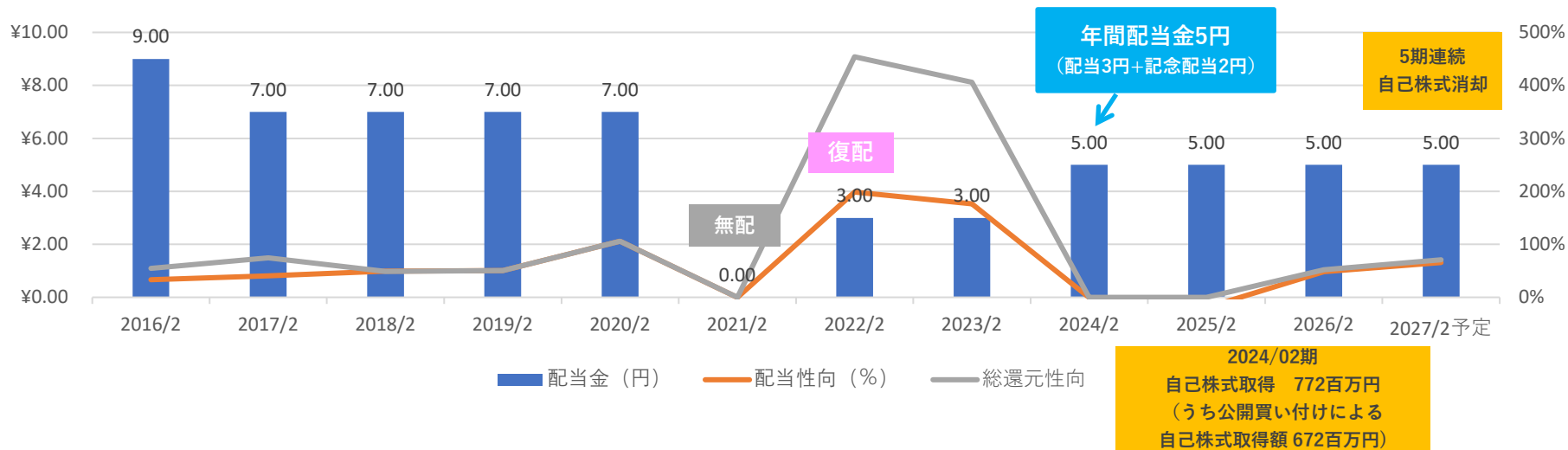


株主還元

当期及び次期は1株あたり5円の配当とさせていただきます。

また株主還元の一環として2026年4月17日に自己株式100万株の消却を行います。

配当金・配当性向・総還元性向の推移



当社グループは、中長期的な企業の競争力の強化と成長力の維持を可能とする投資を最優先事項と捉えています。そのため、内部留保金並びにフリー・キャッシュ・フローにつきましては、新規事業向けを中心とした投資に充当し、グループとしてのさらなる成長を図ります。一方で、株主の皆様に対してはその投資によって得られた成果、つまり連結業績に連動した利益配分を行っていくこととし、具体的には連結配当性向50%を目処に配当を行う方針です。

当期の配当につきましては、1株当たり5円の期末配当を予定しております。次期の配当につきましては、1株当たり5円の期末配当を予定しております。(2026年4月17日に自己株式100万株消却を実施しました。)

自己株式の消却について

➤ 自己株式の消却を行う理由

- ◆ 株主の皆様への利益還元を図るため、また資本効率の向上を図るため

➤ 消却の内容

- ◆ 消却する株式の種類 当社普通株式
- ◆ 消却する株式の総数 1,000,000株
(消却前の発行済株式総数に対する割合 3.64%)
- ◆ 消却日 2026年4月17日(木)

➤ 参考(消却後の自己株式の保有)

- ◆ 消却後の発行済株式総数 26,437,249株
- ◆ 消却後の自己株式数 8,147,767株



中期経営計画の進捗について ①人的資本の実績

グループ中期経営計画については、2025年4月10日開示にした内容に修正はございません。
人的資本を基本とした環境整備（ダイバーシティ）の数値は2026年2月期末時点の実績となります。

基本戦略

利益計画他

■グループ利益計画(2028年2月期)

2028年 2月期 (55期)	売上高	5,472百万円
	営業利益	450百万円
	営業利益率	8.2%

■人的資本を基本とした環境整備(ダイバーシティ)

女性管理職比率

2028年
目標 25%

2026年2月期実績
25.0%

男女間の賃金格差

2028年
目標 80%

2026年2月期実績
79.0%

男性育休取得率

2027年
目標 10%
(目標値の再考と再設定を検討のため2年後目標)

2026年2月期実績
50.0%

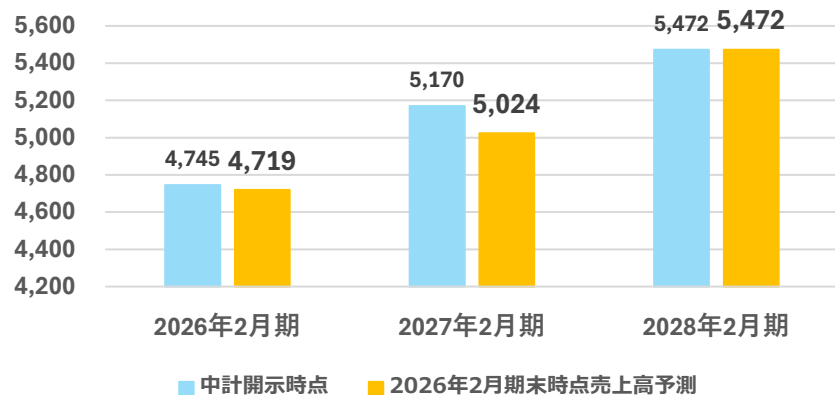


中期経営計画の進捗について ②連結3カ年財務予算

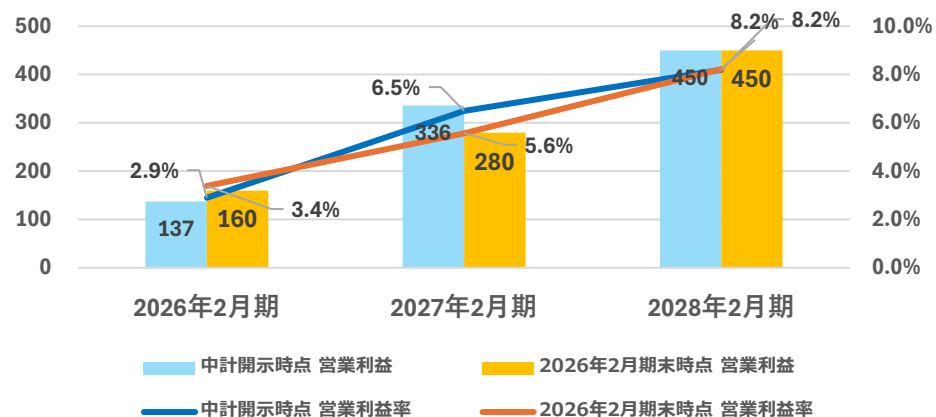
2028年2月期の中期経営計画予想に修正はありません。

(単位：百万円)	2026年2月期				2027年2月期				2028年2月期
	実績	中計開示	差異	乖離率	業績予想	中計開示	差異	乖離率	中計開示
売上高	4,719	4,745	△26	△0.6%	5,024	5,170	△146	△2.8%	5,472
売上原価	1,557	1,495	61	4.1%	1,635	1,657	△22	△1.3%	1,806
売上総利益	3,162	3,249	△87	△2.7%	3,389	3,513	△124	△3.5%	3,665
販管費	3,001	3,112	△110	△3.5%	3,109	3,176	△67	△2.1%	3,215
営業利益	160	137	22	16.4%	280	336	△56	△16.8%	450
営業利益率 (%)	3.4%	2.9%			5.6%	6.5%			8.2%

売上高



営業利益と営業利益率



免責事項

【免責事項】

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。また、本資料は、当社が発行する有価証券の投資を勧誘するものではありません。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。



株式会社アルバイトタイムス コーポレート本部
管理部 経理IR課

E-mail: ir@atimes.co.jp

HP: <https://www.atimes.co.jp>

※お問い合わせ等はメールまたは
下記コーポレートサイトお問合せ窓口よりお願い致します
<https://www.atimes.co.jp/contact/>

